

令和4年第10回函館市教育委員会定例会 会議録

- | | | |
|--------|--|---------|
| 1 日 時 | 令和4年(2022年)10月24日(月) | 午後3時30分 |
| 2 場 所 | 市立巴中学校 | |
| 3 出席者 | 辻教育長, 藤井委員, 小葉松委員, 國谷委員, 神田委員 | |
| 4 欠席者 | | |
| 5 事務局 | 川村生涯学習部長, 小笠原学校教育部長, 吉本生涯学習部次長,
清藤生涯学習部次長, 金野教育政策推進室長, 渡邊管理課長 | |
| 6 傍聴者 | 0人 | |
| 7 付議事項 | | |

- | | | |
|------|-------|------------------------------|
| 日程第1 | 議案第1号 | 第32回函館市青少年芸術教育奨励事業受賞者の決定について |
| 日程第2 | 議案第2号 | 令和4年函館市文化賞受賞者について |

■辻教育長

- 開会宣言 午後1時30分
- 議事録署名人に, 藤井委員, 小葉松委員を選任。
- それでは, 日程第1, 報告第1号「第32回函館市青少年芸術教育奨励事業受賞者の決定について」報告を求める。

■生涯学習部長

- 報告第1号「第32回函館市青少年芸術教育奨励事業受賞者の決定について」報告する。第32回函館市青少年芸術教育奨励事業受賞者の決定について音楽, 書, 美術, 文学部門の4部門すべての受賞者が決定した。音楽部門では, 総数31人の応募があり, 8月21日に芸術ホールで開催した音楽コンクールにおいて受賞者を決定し, 書部門では, 総数149人の応募があり, 9月4日に亀田交流プラザで開催した「席書大会」において受賞者を決定した。美術部門には, 総数191人, 文学部門には, 総数370人の応募があり, それぞれ9月16日と22日に本審査を行い, 受賞者を決定した。また, 10月22日から本日にかけて芸術ホール ギャラリーにおいて開催中の「児童生徒 書・美術展」において, 書部門・美術部門受賞者の作品の展示をしているほか, 音楽部門の金・銀・銅賞入賞者の演奏を放映, また, 文学部門の金・銀・銅賞入賞者の作品集を配布している。

■辻教育長

- 報告第1号について何かあるか。

(意見なし)

■辻教育長

- 次に, 日程第2, 報告第2号「令和4年函館市文化賞受賞者の決定について」報告を求める。

■生涯学習部長

- 報告第2号「令和4年函館市文化賞受賞者の決定について」報告する。9月30日に開催された函館市文化賞審議会において、陸上競技の発展と選手育成に尽力された、岡部壽一氏、詩吟・琵琶の普及と後進育成に尽力された、湊賢一氏が、令和4年函館市文化賞受賞者に決定した。岡部壽一氏は、教員として勤務した学校で陸上競技の普及発展に努められるとともに、道南、全道、全国陸上競技団体の要職を歴任された。道南陸上競技会協会においては、組織力の強化や指導者のスキルアップに取り組み、選手の育成に必要な環境を整え、競技力向上はもとより、陸上競技を通じて子ども達の心身の健全な育成に努められた。また千代台陸上スクールを設立し、小中学生を中心とした選手のトレーニング環境を著しく向上させ、同スクール出身者が東京2020オリンピックや箱根駅伝に出場するなど、函館市を含む道南地域の陸上競技の発展に顕著な功績を残された。湊賢一氏は、錦城会に入門して以来、長きにわたり詩吟・琵琶の研鑽に努め、詩吟においては全国的なコンクールで受賞するとともに、函館では函館短期大学詩吟部や美原教場を設立したほか、札幌在勤中にも道場を立ち上げ精力的な活動により発展に寄与された。また、錦城会においては、函館支部の理事長、支部長、道南本部の専務理事、副本部長を歴任したほか、新会派「水月流賢心朗吟会」を設立し、函館を中心とした道南地区に関わりのある人物や景勝を題材とした冊子「詩歌構成吟」の刊行などにより、詩吟の普及や後進の育成に努め、本市の文化の振興に貢献されている。

■辻教育長

- 報告第2号について何かあるか。

(意見なし)

■辻教育長

- これで、報告事項を終了する。

■終了宣言

- 午後4時2分

議事録署名人 藤 井 壽 夫

〃 小葉松 洋 子

調製者庶務係 庭 田 真 由